



## 建設技術センターの職場案内

所在地：鹿児島市宇宿二丁目9番3号

### 1 建設技術センターとは

県や市町村の公共工事の実施を支援している公益財団法人です。

工事費の積算業務や工事の施工管理などの業務を行っています。

- ・ 県内各地の様々な公共工事に関わることができます。
- ・ 基本的に、鹿児島市宇宿での勤務となります。



### 2 勤務時間

8時30分から17時15分まで(12時から13時 休憩)

※ 時差出勤制度もあります。

例えば、1時間の早出勤を希望した場合 7時30分から16時15分まで

### 3 給与

鹿児島県職員に準じています。(令和8年4月1日現在)

- 初任給 大卒 240,200円
- 短大卒 225,000円
- 高卒 208,900円

※職務経験等がある場合には、この額に一定の基準で加算されることがあります。

#### ○手当

賞与(期末手当・勤勉手当) 約4.6月分(令和7年度実績)  
通勤手当, 住居手当, 超過勤務手当, 扶養手当 など

### 4 休暇制度

- (1) 完全週休2日制(土日祝, 年末年始)
- (2) 年次有給休暇 20日(初年度は15日)  
※時間単位(例えば, 夕方1時間)の取得もできます。
- (3) 特別休暇 夏季休暇(5日), 結婚休暇, 看護等休暇 など

### 5 福利厚生等

定期健康診断, 職員駐車場 など

### 6 資格取得助成制度

技術士, 土木施工管理技士, コンクリート技士などの資格取得に係る受験料, 受験に要する交通費・宿泊料, 登録費用などを助成します。

## 7 先輩職員の紹介

### Mさん(平成 27 年度採用)

土木分野を選んだ理由は、仕事の規模が大きく、やりがいがあって面白そうだと感じたからです。

行政と民間の両方の進路を検討していましたが、技術センターは公共工事に深く関わり、地方自治体への貢献度が高い点に魅力を感じました。また、業務を通じて行政の仕組みを学びながら、さまざまな工種に携わることができると考え、技術センターを選びました。



現在は、地方自治体が公共工事を発注するための積算業務や、公共工事の施工管理業務を受託し、現地での立会業務を行っています。

これまでの業務で印象に残っていることは、土砂災害発生直後の被災状況を、ドローンを用いて調査したことです。甚大な被害が各地で確認され、自治体が被災状況を把握するための初動対応に貢献できたのではないかと感じました。

また、通算で約 4 年間、地方高規格道路の施工管理業務に携わりました。道路の開通式の様子や、供用開始後に多くの方々が利用している光景を見たとき、そして発注者の方から感謝の言葉をいただいたときには、大きな達成感を得ることができました。

今後、建設業界では官民を問わず人材不足がさらに深刻化していくと考えられます。その中で、私たちのような発注者支援を行う組織の重要性は、ますます高まっていくと感じています。

今後もその役割を意識しながら、日々の業務に取り組んでいきたいです。

さらに、ICT 技術やドローンなどの DX 分野についても幅広く学び、業務への活用を模索しながら、効率化や精度向上を図っていきたいと考えています。

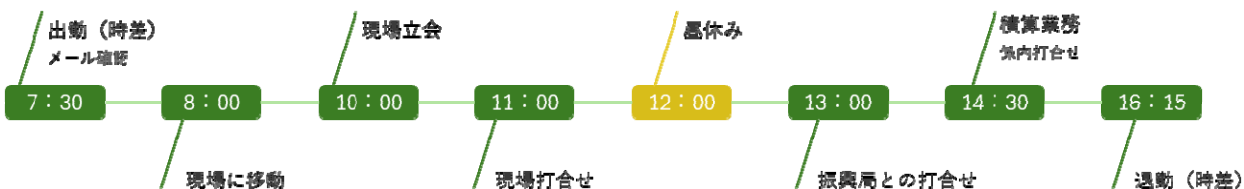
プライベートでは退勤後に身体を動かしたり、できるだけ早めに帰宅して家族、愛犬との時間を大切にするように過ごしております。また、休日は所属している野球とソフトボールの練習に参加し、家族・仕事以外の仲間とも充実した時間を過ごしております。

県内のインフラ整備において、技術センターは非常に重要な役割を担っている職場です。

やりがいのある仕事に取り組みながら、自分の時間も確保しやすく、プライベートを充実させることもできます。

地域のインフラを支える仕事に、あなたも携わってみませんか。

※1日のスケジュール(例)



## Dさん(令和4年度採用)

土木の道に進んだ理由は、元々ものづくりや細かい作業が好きだったことに加え、中学生のころ、地元で大規模な橋の建設が行われていたことをきっかけに土木に興味を持ちました。高専の先輩が技術センターに就職したことから、技術センターの存在を知りました。元々公務員志望で、鹿児島県内で働きたいと考えていたため、異動がほとんどなく、ライフステージが変わっても働きやすい職場であると感じ、志望しました。



現在は、設計図や仕様書を基に、必要な人件費や工事資材の材料費などを計算し、工事にかかる費用を算出する積算業務を担当しています。初めて担当した積算業務では不安もありましたが、係長をはじめ同じ係の先輩方に丁寧に教えてもらい、設計書を作成することができました。また、県の担当者が高専時代の同級生で、一緒に仕事をする中で、自分もさらに頑張ろうという気持ちになりました。

企画研究課に所属していた際には、当センターが実施している「土木デザインフォトコンテスト」の企画・運営を担当しました。写真の募集から審査会、表彰式まで準備や調整は大変でしたが、無事に表彰式を終えたときには自分の仕事が形になったことを実感しました。

今後の目標は、日々の業務を通して一つひとつ確実に仕事を覚え、土木に関する知識と経験を積み重ねていくことです。今年 2 級土木施工管理技士の資格を取得したので、引き続き資格取得にも挑戦し、自分にできることを着実に増やしていきたいと考えております。

休日は、友達と買い物やカフェに出かけたり、カメラを持って写真を撮りに行ったりしています。技術センターの同世代の女性職員とはランチをしたり、仕事の帰りに食事をしたり仕事だけでなくプライベートも仲良く過ごしています。

技術センターは、幅広い仕事に携わることができ、先輩方も優しく教えてくれるので、安心して働ける職場です。

構造物が出来上がっていく過程を間近で見ることができるのも、この仕事の大きな魅力です。ぜひ私たちと一緒に働きましょう！

### ※1日のスケジュール(例)

